「介護テクノロジー等活用ミーティング」

AI見守りカメラの活用による他職種連携と、

映像分析を通じた介護の質の向上

～転倒による、骨折OP入院ゼロ・稼働率向上

・職場環境改善の実践～



社会医療法人中山会　介護付きホーム　宝木荘

栃木県宇都宮市宝木町2丁目1090-27

施設長　大垣治彦

Profile



社会医療法人中山会
介護付き有料老人ホーム　宝木荘
施設長
大垣　治彦様

「ユニットケア施設管理者研修終了・職場衛生推進者養成講習修了 スマート介護・高齢者権利擁護推進員養成研修」・介護福祉士

栃木県有料老人ホーム連絡協議会　会長

略歴（抜粋）

- 2011年より、社会医療法人中山会　介護付き有料老人ホーム　宝木荘　施設長
- ケアミックス医療機関、大腸消化器専門医療機関　事務部長勤務（約20年医療機関）
- 公益財団法人　介護労働安定センター栃木支部　令和7年度　委嘱講師
- 令和7年度“介護職場働きやすい職場環境つくり”厚生労働大臣表彰　奨励賞受賞
- ユニットケア推進センター・ユニットケア管理者研修受講
- その他、福祉系雑誌、新聞、FMラジオ、TV等取材、インタビュー多数等

介護施設にAIを活用

“見える化から気づく介護へ”

AIカメラで変わる見守りの未来～AIカメラで見た転倒の事実

AIを活用した効果を
第一線の施設が
わかりやすく解説！



東電タウンプランニング株式会社
スマート介護士　営業担当部長
松村 史岳

×

社会医療法人 中山会
介護付き有料老人ホーム宝木荘施設長
大垣 治彦

Careテクノロジー東京'26

Ace care

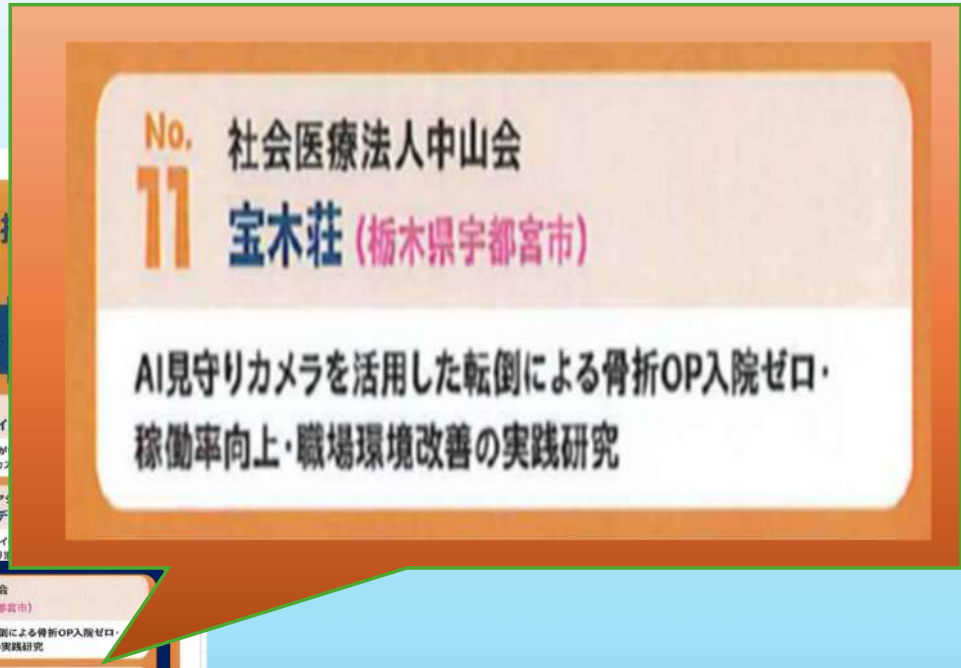
東電タウンプランニング株式会社

全国介護付きホーム協議会　優勝賞受賞

全国より１０７エントリーうち、１５組が選出







宝 木 荘 は、社会医療法人ならではの安心感を

・地域に根ざした、医療と介護の連携をテーマに・・・

・「社会医療法人中山会」が運営する、宇都宮市の介護付き有料老人ホーム。
すぐそばには信頼の医療ネットワークがあり、高い安心感のもとで質の高いケアを
提供を目指しています。



宇都宮記念病院・健診センター



鷲谷記念病院



介護付きホーム　宝木荘

社会医療法人中山会
介護付きホーム 宝木荘

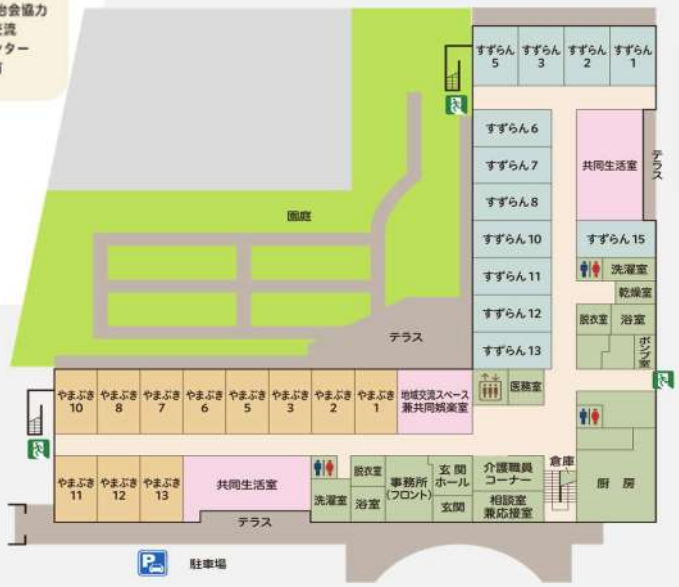
宝木荘の概要













Copyright©2026 TEPCO TOWNPLANNING CO.,LTD. All rights reserved

宝木荘　概要



R7年度　栃木県代表
“介護職場働きやすい職場環境つくり”厚生労働大臣表彰　奨励賞
受賞

「職員状況」

職員数：37名 介護職、ケアマネ、相談員、PT/ST、看護師、
栄養士、調理師、送迎員等
常勤換算数：33.9名

介護職員数：17名（海外人材6名うち、介護福祉士取得者2名）
介護福祉士充足率70.6％：介護職員比率2 .6： 1

「利用者状況」

入居者数：45名
平均介護度：3.1
平均年齢：90.8歳
介護度3～５割合　64.5％

○今後中重度利用者・認知症利用者増
◎介護職→技術力、観察力、判断力Up
◎DX化加速、生産性向上へ、海外人材教育支援など更に取り組まなければない！

1．介護職員等処遇改善加算（Ⅰ）初年度より取得
※「R8.6～（Ⅰロ：15.9％）上位加算取得」

2．科学的介護加算（life）初年度より取得

3．生産性向上推進体制加算（Ⅰ）取得「R7.2～宇都宮市で初取得」

社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

“働きやすい職場環境つくり”
具体的な取組内容　生産性向上へ繋げるために

課題1.【人材育成】

・人員不足解消、3年～5年目職員の離職、職員定着率Up安定した職場環境に、接遇重要視
・介護ケアサービス向上、資格取得支援制度導入など

課題2.【海外人材採用・ケアアシスタント配置】

・直接業務と間接業務の洗出しより、適材適所による業務分担が必要であった
・常勤・臨時職員の役割明確に残業削減、有休取得率Up、公休、休暇時間の確実な取得へ

課題3.【生産性向上　ICT・テクノロジー・(AI)介護ロボット導入】

・介護記録の在り方、 リアルタイムな情報共有化、議事録・各種回覧の遅延、入居者直近の情報把握しにくい環境、オンコール対応看護職員の精神的負担、、16h夜勤介護職員の肉体的、精神的な負担、転倒事故等対策・分析

多数ある介護施設の中でも先進的な介護施設をめざす！

数値目標　テーマ別計画　スローガン

部　門	担当者	数値目標	テーマ別計画	スローガン
管理部	施設長	・介護 ・人件 ・一般	・各職種 ・介護職 ・業務改 チームを ・居室環境別のまる差別化 ・DX経営からの利便性の実績状況及び今後へ向けた状況確認	・利用者様 ・地域に根 す。 ・働きやすい職場環境つくり
	介護支援専門員	・事故報告書件数20%削減、ヒヤリハット件数20%アップ ・施設内研修内で3か月毎に接遇研修を取り入れる	・ご利用者、ご家族が安心して過ごすことができる環境を整える ・転倒、転落事故発生時にカメラ映像から原因を把握、分析し再発防止に努める ・ヒヤリハット報告書での気づきを増やすことで事故を防ぐことができる ・個々の背景や生活環境、心身状態に合わせたプランの策定	・信頼されるケアマネージャー ・ご利用者一人一人の個性を大切にしたケアプランの策定ができる
	生活相談員	・入居者平均43名以上維持 ・待機者15名以上 ・利用者様から相談件数10%増	・丁寧、真摯な態度での接遇 ・見学から申し込みへのスムーズなアプローチ 適宜適切な利用者様、ご家族様への情報提供 感染対策を行った上でのレクリエーション・地域交流の開催	・話やすい、相談しやすい顔なじみの相談員、窓口であるよう努める
	請求事務	・返戻0の維持 ・有給充足率の促進	職員の声かけを上に伝わりやすくし、公休や有休が平等所属長、責任者に働きかける	・コンプライアンスに則り職員が理不尽にならないようパワハラや差別のない職場環境にする ・事務員としてご利用者、ご家族からの信頼を得られるようにする
介護部	介護リーダー	職員の離職率0% 有給消化率20%増	日勤帯で利用者に安心、満足した生活を送れるように職員同士が協力し合い実行する。 ・働きやすい職場環境作り目指す。(効率の良い業務、職員への身体の負担軽減、人事確保、新入職員の指導強化、有給休暇取得率Up) ・AI見守りカメラ・インカムなど使用し日常の中で効率の良い業務を見直していく。	一人一人が職員と協力し合い、ご利用者様に満足をご家族様に安心を届けられ、働きやすい環境つくりを努める
看護部	看護職	・褥瘡発生率0件維持 ・感染クラスター発生率0%	・知識や手技をより高めご利用者、ご家族との信頼関係を深め心通う看護サービスを提供する ・連携医療機関の研修に参加することや施設内研修で知識の共有化を図り徹底した感染予防対策を行う	ご利用者様がその人らしくあるため生活を支え笑顔で明るい看護を実践できる
日常機能運動部	日常機能運動部	・個別機能訓練1000回/月以上	・他部門・他職種との情報共有・連携に努め、個々の状態に合ったプログラムの計画・実行し、定期的に評価や見直し行う。 ・ご利用者様の心身機能に寄り添った介入、ADL能力に応じた環境の整備をサポートする。 ・足浴利用や中庭散歩の誘導の推進	ご利用者様の個々のニーズに合わせた機能訓練を行い、QOLの向上につながるよう心掛けた介入をしていく
栄養科	栄養士科長	・食事事故0 ・毎月1回以上の有休取得	・「食べる喜び」を満喫していただけるよう心をこめて食事を提供する ・他職種と連携を取り、急な体調変化時にも迅速に対応する ・働きやすい職場環境作りを行う	・ご利用者様一人一人に寄り添い、安心安全な食事提供を行う
施設課	施設課　主任	・火災害0、人的災害0 ・送迎業務　交通事故0、交通違反0	・BCP対策を強化し、地域との連携をとる ・ご利用者様に安全、安心をしていただける送迎業務に努める　・ご利用者様に満足していただける環境作りを目指す(5S・3M)	・ご利用者様にご家族様に安心安全な環境作りを目指す ・安全・安心な送迎業務でご利用者様に不安を感じさせない運転業務をする

Classified as Microsoft Confidential

看護部活動概要

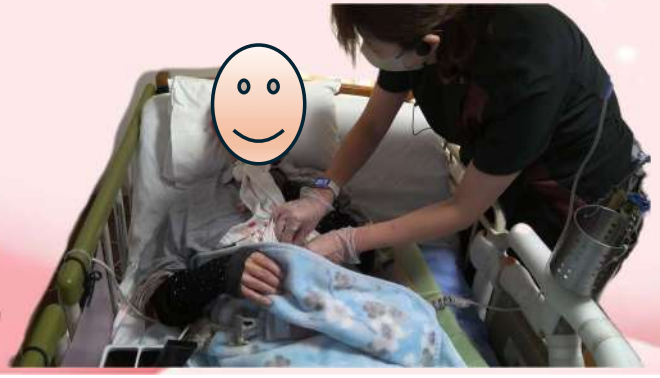


・健康管理：毎日のバイタルチェック、服薬管理、体調変化の早期発見、
皮膚トラブルの予防や創傷処置、吸引、経管栄養などの実施
夜間のオンコール対応

・医療連携：定期受診の付き添い、医師の指示に基づく医療処置及び
緊急時対応、訪問医診察介助や受診時のサポート、指示受け

・ご家族様対応：健康状況の報告、介護・医療相談の実施









介護部

スローガン

寄り添う心と効率化で届ける、最高の安心と笑顔

海外職員の活躍と24時間安心のチームづくり

これまでの研修や指導をしっかり活かし、現在は海外職員も夜勤を担当して頼もしく活躍しております。国籍を問わず助け合える体制を整え、24時間いつでも安心していただけるケアをお届けいたします。

ICT（AIカメラやインカム）の活用とケアの質アップ

すでに現場になじんでいるAIカメラやインカムをより有効に活用し、夜間も含めて素早く安全に対応できる力を高めてまいります。

介護部の取り組み

🌏 海外職員の夜勤での活躍とサポート

夜勤でも頼れる戦力として活躍している海外職員が、より安心して力を発揮できるよう、日頃のコミュニケーションやフォローを続けてまいります。チーム一丸となって、24時間しっかり寄り添うケアを行ってまいります。

📷 ICT機器をさらにスムーズに使いこなす

見守りカメラやインカムをスタッフ全員がより連携させて使いこなし、ご入居者様の状態確認やお声がけを早め早めに行えるようにいたします。

💬 生まれた「ゆとり」を皆さまとの時間に

業務がスムーズになったことでできた時間を、45名の皆さま一人ひとりとお話しする時間や、丁寧なケアの時間にしっかり使ってまいります。

日常機能運動部

機能維持 → 活動の広がり → QOL向上 → 意欲向上

QOL向上から意欲の向上につながるような関りを



主な支援内容

1. 残存機能を活かした日常生活動作の維持や自立度向上の支援



2. セラピスト個別介入プログラム



3. 体操・レクリエーション活動



4. 福祉用具の検討



5. 安全面や機能維持に配慮した環境整備















令和８年度 主な取り組み



交流スペース利用や中庭散歩等、ユニット以外での活動参加の推進や他ユニット入居者との交流



心身機能に合わせたプリントや工作等、巧緻動作や机上課題の取り組みの充実



他職種スタッフ間との情報共有に努め、個々に合ったプログラム作成



月２回の言語聴覚士による個別介入と評価、口腔体操の継続

栄養科

テーマ

【ご利用者様一人一人に寄り添い、安心安全な食事提供を行う

『食べる喜び』を満喫していただけるよう心をこめて食事提供を行う










他職種と連携を取り、利用者様の急な体調変化時も迅速に対応する





食品の温度管理、食材や器具の洗浄、手洗い等衛生面の徹底を行う





日々変わる利用者様一人ひとりの体調や食事量を観察し、ベストな食事形態で提供を行い、生活の質を高め、健康維持をサポートする



Classified as Microsoft Confidential

施設環境管理部より

〈スローガン〉
ご利用者様に満足をして頂ける環境作り

日常生活環境整備

ご利用者様の
居室の環境整備
保全の徹底

職場安全衛生委員会

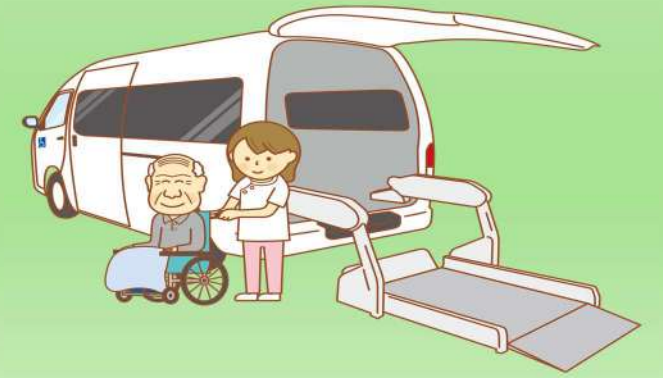
月に一度巡回、指導
５Ｓ活動の実施
働きやすい職場環境
り

送迎業務

２種免許保持
ご利用者様に安心して
いただける
送迎業務







施設環境管理部より

〈施設環境整備〉
・故障など敏速な対応毎月環境衛生面の巡回チェック
〈職場環境整備委員会〉
５Ｓ、３Ｍ活動
・ムリ・ムラ・ムダがない働きやすい職場を作るために、
・５Ｓに取り組み『実行』しています。
　目的…業務を安全かつ効率的に行い、職場環境整備と業務改善を行う５Ｓとは…
　　整理、整頓、清掃、清潔、躾
（習慣）３Ｍとは…日常業務において、ムリ、ムダ、ムラをなくし効率的業務

施設環境整備委員会　チェックシート（1F）

令和　7 年　11 月　30

場所	チェック項目			汚れ、破損・整理整頓	確認者
やなぶき フロア	椅子、テーブル キッチン クローゼット フロアの床 壁	椅子の破損	✓	5S活動のポスター標語の作成。	新井 奥村
		テーブルはぐらつき	✓		
		床にゴミ	✓		
		クローゼットの整理整頓	✓		
		壁の汚れ、破損	✓		
		キッチンの整理整頓	✓		
		レンジフードの上に物はないか	✓		
やまぶき 廊下	手すり クローゼット 床 壁	手すりのぐらつき	✓	特になし	新井 奥村
		電球が切れていないか	✓		
		ゴミ、汚れ	✓		
		クローゼットの整理整頓	✓		
		壁の汚れ、破損	✓		
やなぶき 洗濯室 汚物室	棚 乾燥機 洗濯機 床 壁	棚の整理整頓	✓	汚物室の棚の清掃	新井 奥村
		乾燥機、洗濯機の汚れ	✓		
		床のゴミ、汚れ	✓		
		パイプスペースの上に物はないか	✓		
			✓		
		壁の汚れ、破損	✓		
個浴	浴室 脱衣所 洗面台 椅子、床、壁	脱衣所、浴室の整理整頓	✓	特になし	新井 奥村
		洗面台の汚れ、整理整頓	✓		
		椅子の破損	✓		
		水垢の有無	✓		
		カビの有無	✓		
すずらん フロア	椅子、テーブル キッチン クローゼット フロアの床 壁	椅子の破損	✓	5S活動のポスター標語の作成　キッチン周りの道具を移動。 コップ類を利用者の見えない棚の中に移動。 冷蔵庫清掃	新井 奥村
		テーブルはぐらつき	✓		
			✓		
		床にゴミ	✓		
		クローゼットの整理整頓	✓		
		畳スペースの整理整頓	✓		
		壁の汚れ、破損	✓		
		キッチンの整理整頓	✓		
		レンジフードの上に物はないか	✓		
			✓		

Classified as Microsoft Confidential

宝木荘導入事例

1.情報共有システム化

・アイコム：イアホン・骨電型インカム
・ブルーオーシャン：記録システム、
電子サインシステム（ケアプラン・機能運動計画書）
・ワイズマン：請求ソフト、請求伝送システム
MELL+ファミリー
・アルコンEX：レコ楽くん
・クロノス：勤怠管理システム
・協力医療機関電子カルテ連動

2.海外人材の記録指導・知識学習支援

・ブルーオーシャン：AI機能付き 音声入力
・多言語変換入力・文章校正システム

・日本クリエイト：eラーニング

3.移乗機器

・フジ：ハグ
・OG技研　臥床型入浴機器



4.見守りシステム

・東電タウンプランニング
AI見守りカメラ（AceCare）

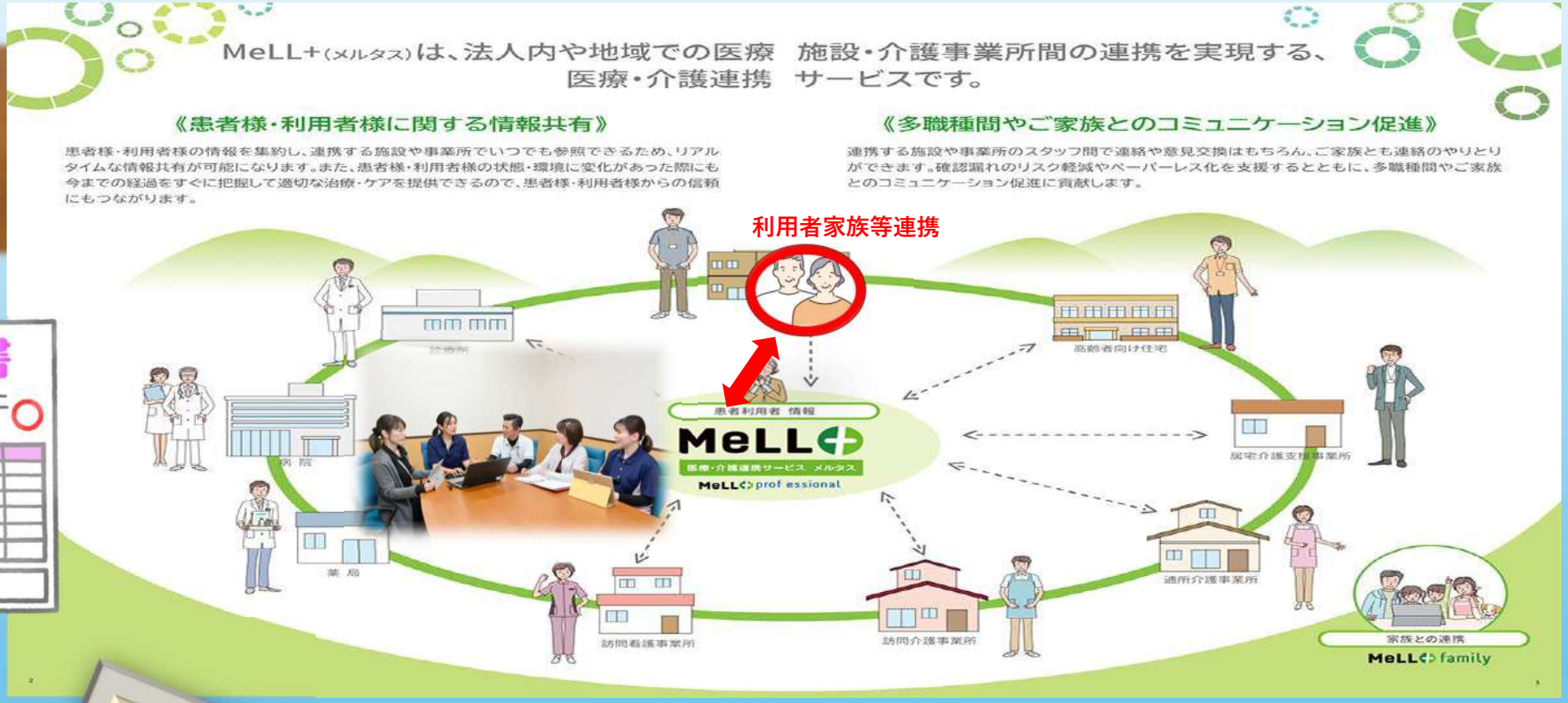
・デバイスアンリミテッドジャパン
見守りカメラ付センサー（RX-5)
・ペーシェントウォッチャー
・バイオネクスト：センサーマット
・ブルーオーシャン：自動記録血圧測定、
体温測定

takaragisou

社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

職員、利用者ご家族、協力医療機関、協力機関との情報共有システム











食事ツアー
photo

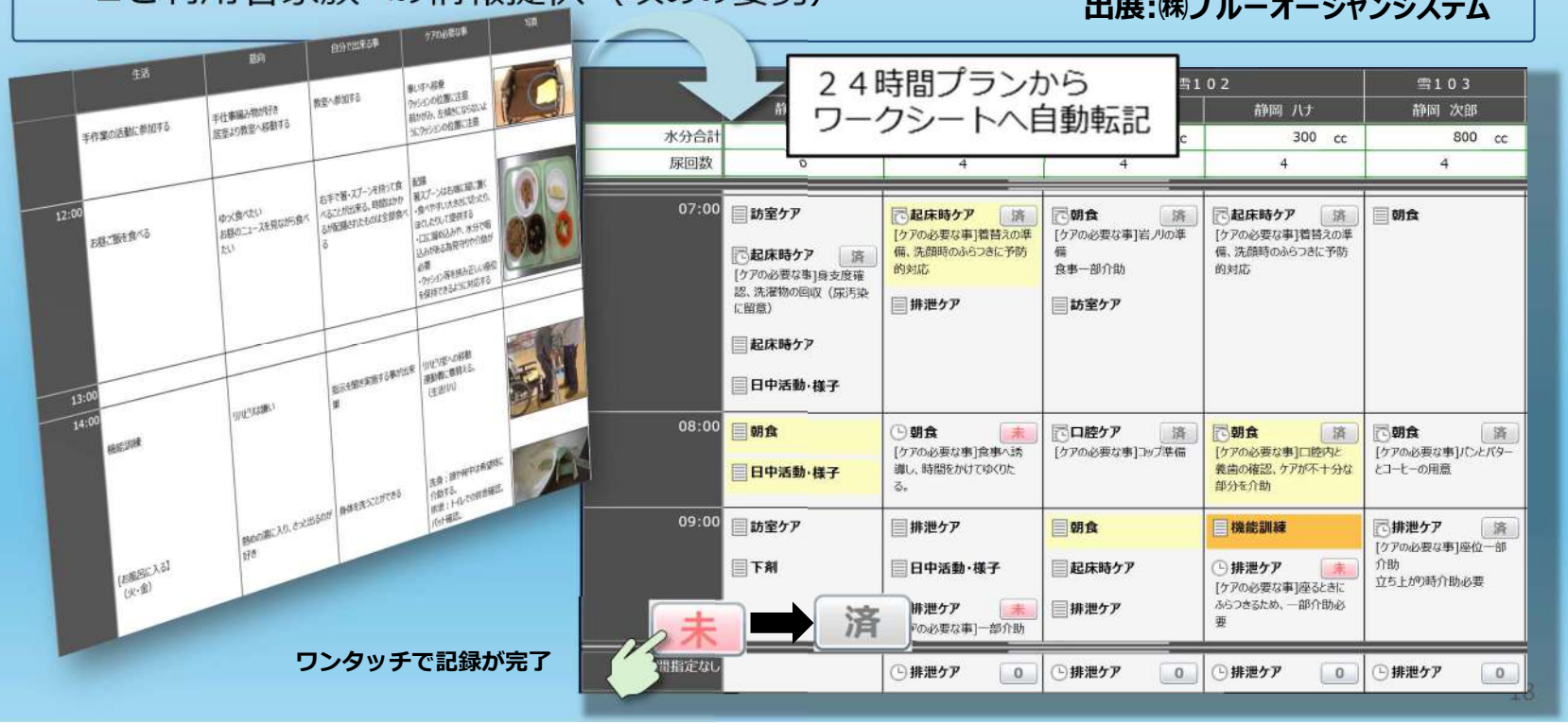
- 医療・介護関係者、利用者、家族との情報連携を目的に、SNS型の情報連携コミュニケーションアプリを活用。これも、地域包括ケアシステムを念頭に置いた仕組み作りの一環と、当時は考えました。

介護記録ソフトの導入

【24時間プランへのこだわり】

- ■PCが苦手な職員でも対応できる直観性
- ■実施記録とプランとの連動性
- ■情報の集約（業務日誌、温度板）
- ■ご利用者家族への情報提供（攻めの姿勢）

出展:㈱ブルーオーシャンシステム

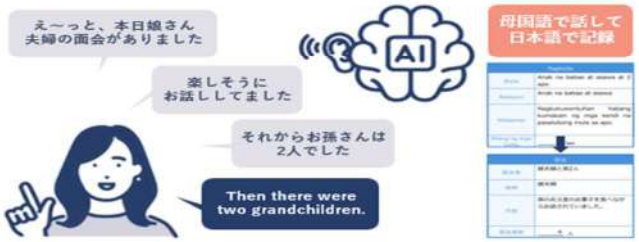


AIシリーズ

特許取得

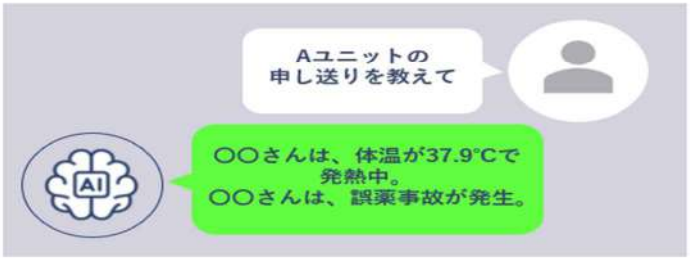
いつも通りに話すだけで記録完了！「AI音声入力」

発話ルールはいっさいありません。
自然な話し言葉のまま、喋るだけで記録が作成されます。
母国語での発話内容も日本語で記録できます。



聞くだけで欲しい情報がすぐ手に入る「AI申し送りチャット」

日々の記録をAIが自動で集計・分析。必要な情報を
すぐに検索・確認でき、情報共有やケア・支援の質の向上に
役立ちます。



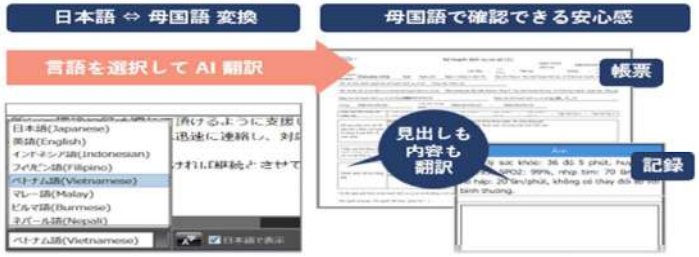
膨大な記録の要点をまとめて自動作成「AI文章作成」、「AI誤字脱字チェック」

蓄積された記録を、事故報告書やサマリー、モニタリング、
ご家族へのお便りなど用途別に自動要約します。



外国人スタッフの採用・定着を支援「AI多言語翻訳」

記録も帳票も、110言語に対応。日本語に不慣れな外国籍
スタッフでも母国語で記録内容を確認でき、安心して
業務に取り組めます。



出展:㈱ブルーオーシャンシステム

バイタル機器連携

【コロナ禍でのニーズ】

- **■血圧、体温測定時に連動して、ﾌﾞﾙｰオーシャン記録システムに自動記録される**
- ■衛生管理の更なる業務負担
- ■日々、バイタルチェックにかなりの時間を要する
- ■いままで1時間以上かかっていたのが、4分の１に軽減！

バイタル機器連携の写真



ブルーオーシャン
電子サインシステム導入
帳票類：①施設ケアプラン第１表
②個別機能訓練計画表
③身体拘束に関する説明書など

・家族説明による認めサイン（電子化）
⇒ワイズマン　メルタスｆａｍｉｌｙ連動し、家族へ電子保存送信へ

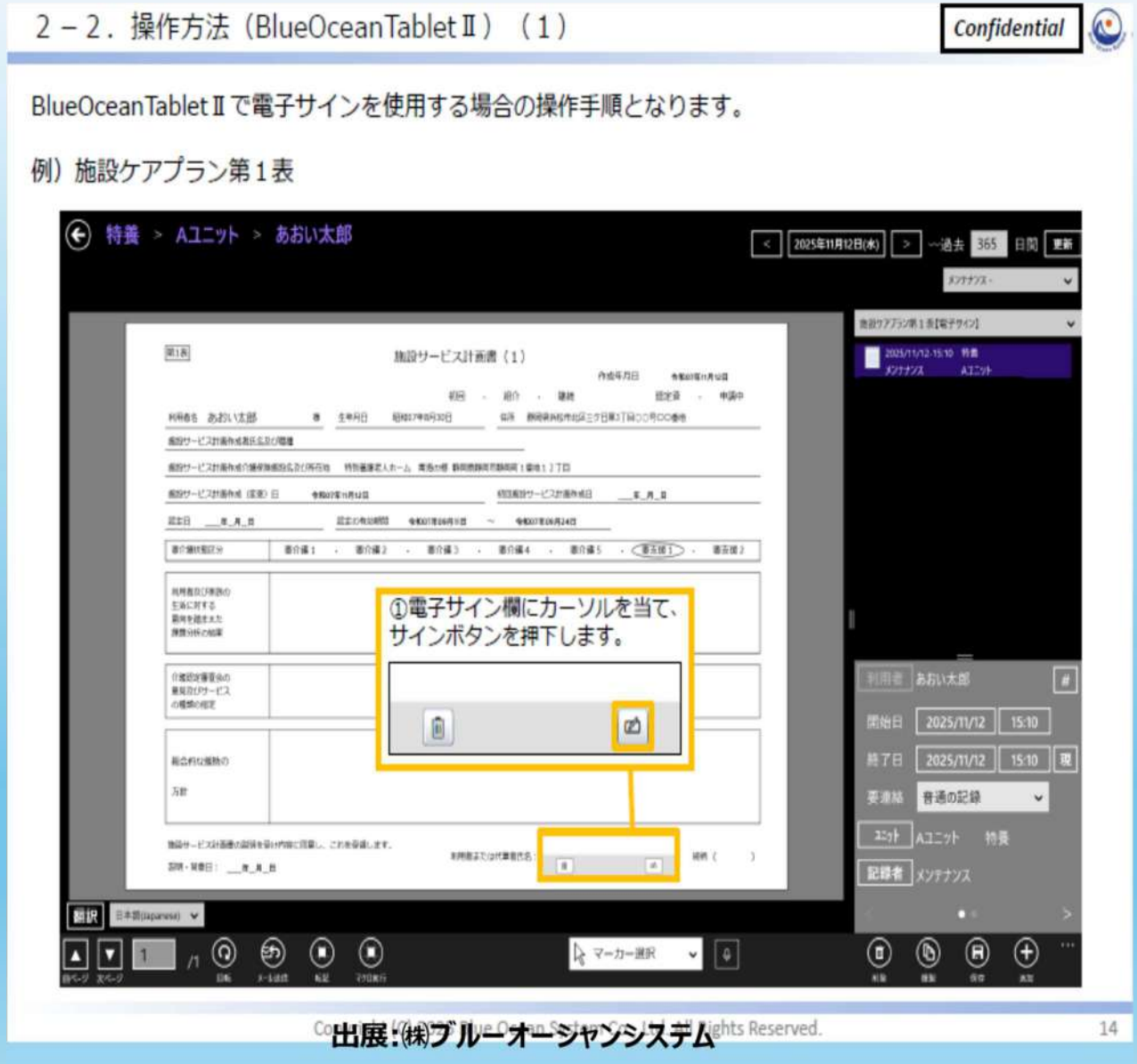
※ペーパーレス化へ

電子サインが可能な**「標準版電子サイン対応帳票」**をリリースいたします。

【対象】
・BlueOceanNoteⅡ　（パソコン）
・BlueOceanTabletⅡ　（Windowsタブレット）
・BlueOceanPadⅡ　（iPad、iPhone、android）

【イメージ】





出展：㈱ブルーオーシャンシステム

AI見守りカメラを活用した

転倒による骨折OP入院ゼロ・稼働率向上・職場改善の実践研究

1.背景と課題

～早期リスクの把握、先回り介護ケアへ～











Acecare®

社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

背景：介護現場の見えないリスク

転倒・ずり落ち・離床・夜間の急変など



従来は・・・「起きてから対応する介護」・・
「見えないリスク」にどう向き合うか？



事故発生時の状況把握が難しい・・・
家族への説明に必要な情報が少ない！
医療機関・救急隊への情報共有に時間がかかる
夜勤職員・オンコール看護職員の負担が大きい

「事故が起きてから対応する介護」から、
リスクを早期に把握し、先回りして対応する介護へ

社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

AI見守りカメラの導入へ

「見る」から「気づく」へ

→全居室・全フロアーへ設置
（５４台）



＜**AI**が気づく＞

→　職員が映像確認

→　人が判断する

→　必要なケアにつなげる





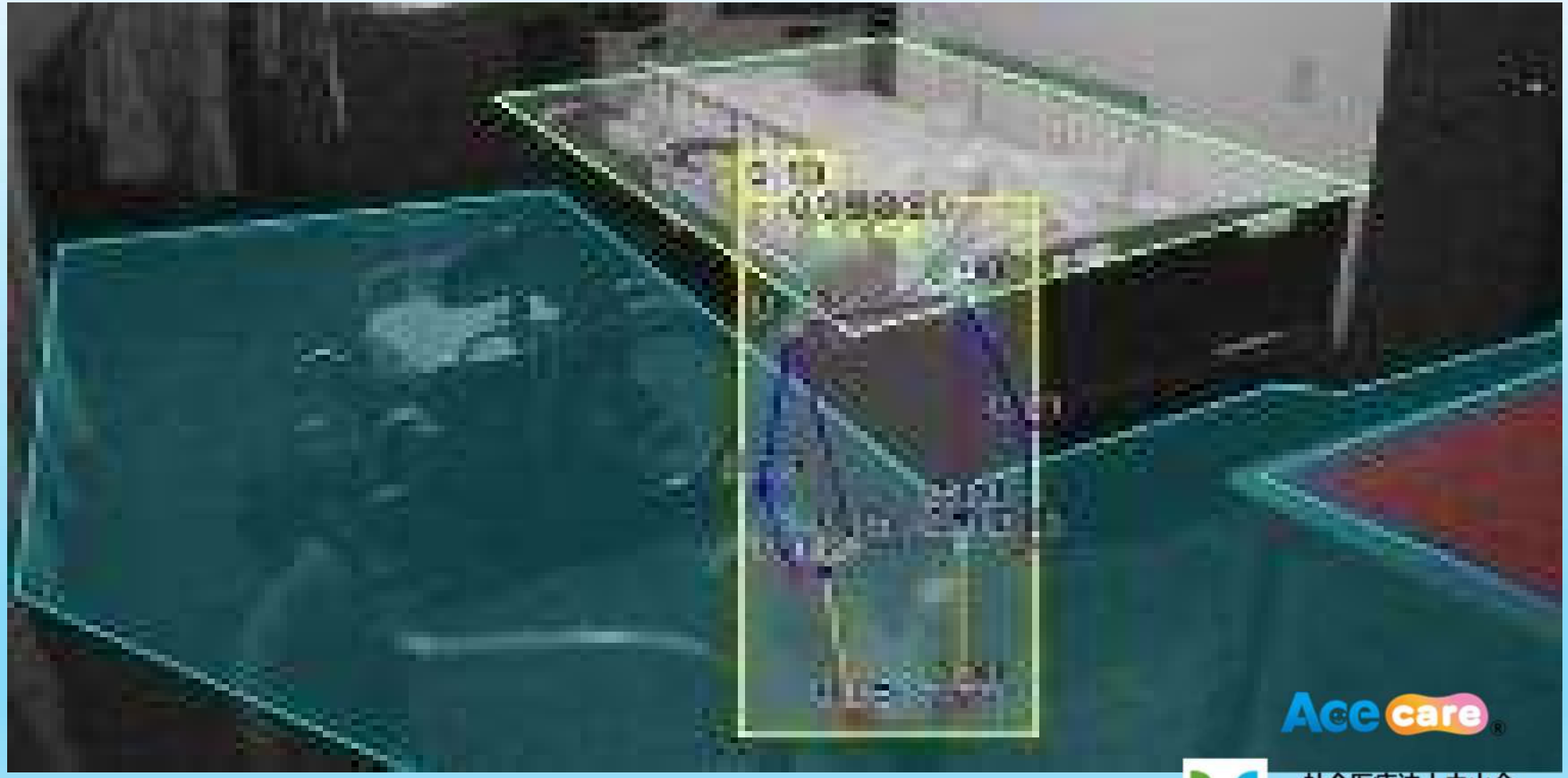
社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

ベッドからずり落ち転倒



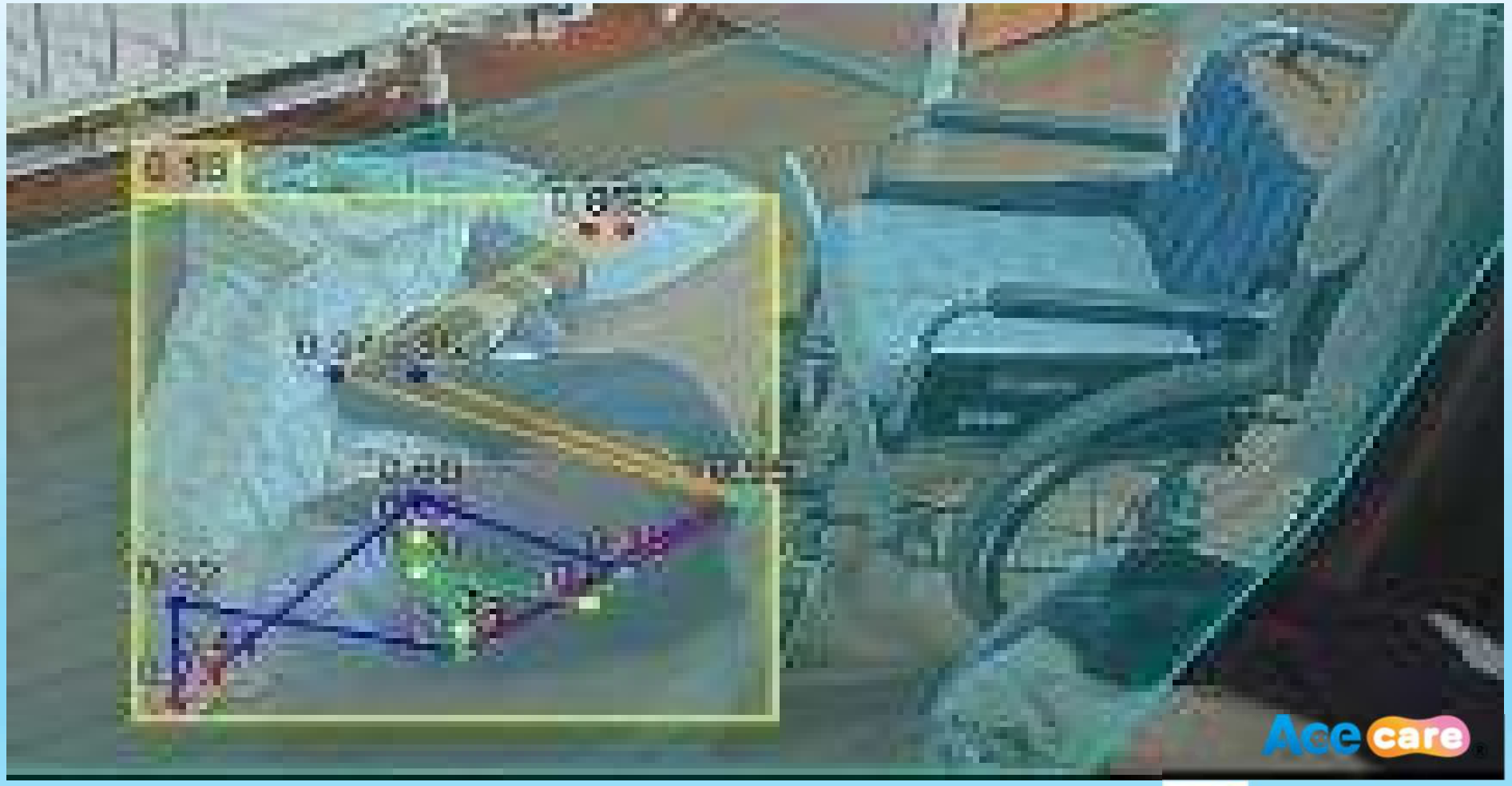
社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

夜中に車いすから転倒



社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

夜中に車いすから転倒



社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

ベット上から転倒



社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

AI 映像からの分析・・・

～AI映像から見ていることは～

◎転倒したという、事実だけではなく

◎その前に、何が起きていたのか？

◎なぜ起きたのか？

◎そして、どう防ぐのか？





社会医療法人中山会
介護付きホーム 宝木荘

映像から「次のケア」へ

映像

原因分析

ケアの見直し

施設外での転倒映像共有化
（クラウド型モバイルPC）→
救急隊・医師・家族





職員間の共有

再評価

～新規 委員会を設置～
・生産性向上推進委員会
・テクノロジー委員会
・職場環境安全衛生委員会

社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘



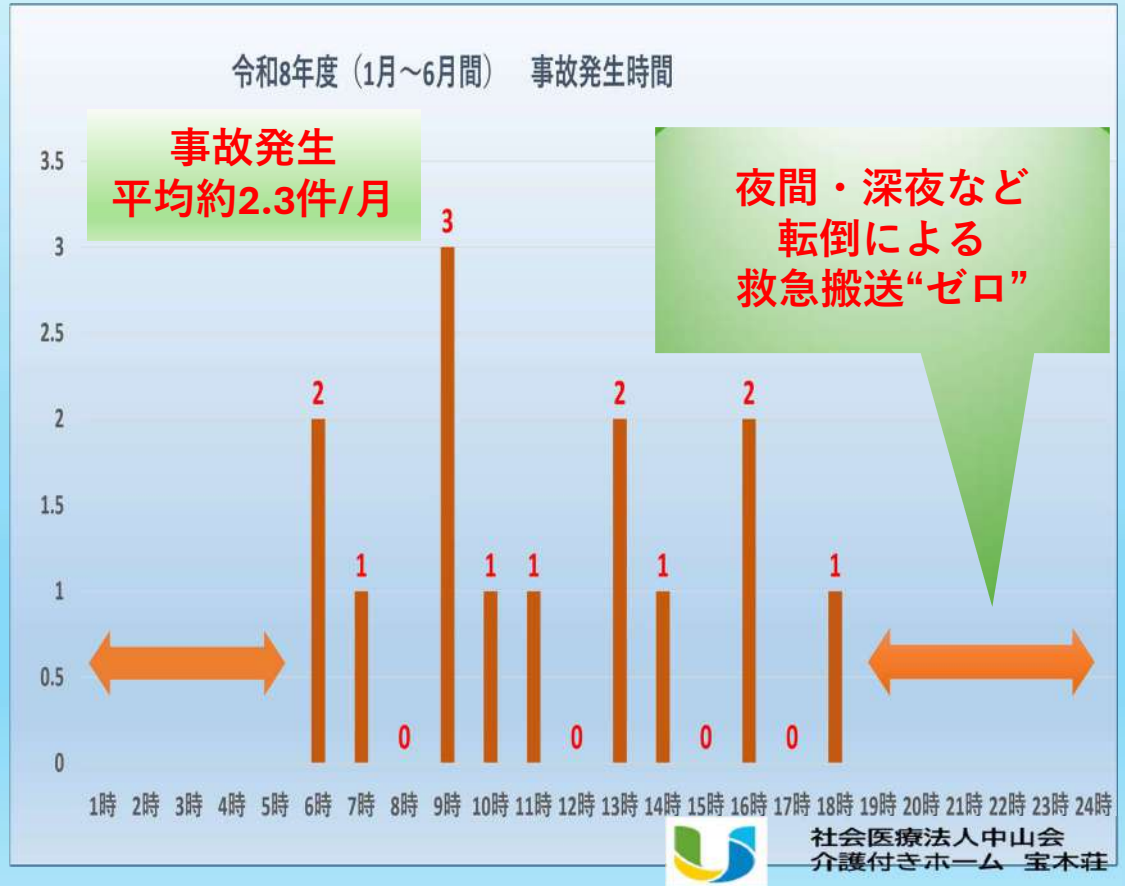
事故発生時間



”AI による端座位アラートの効果”

※R7.1から6月現在転倒による、骨折・OP入院　救急搬送 “ゼロ”

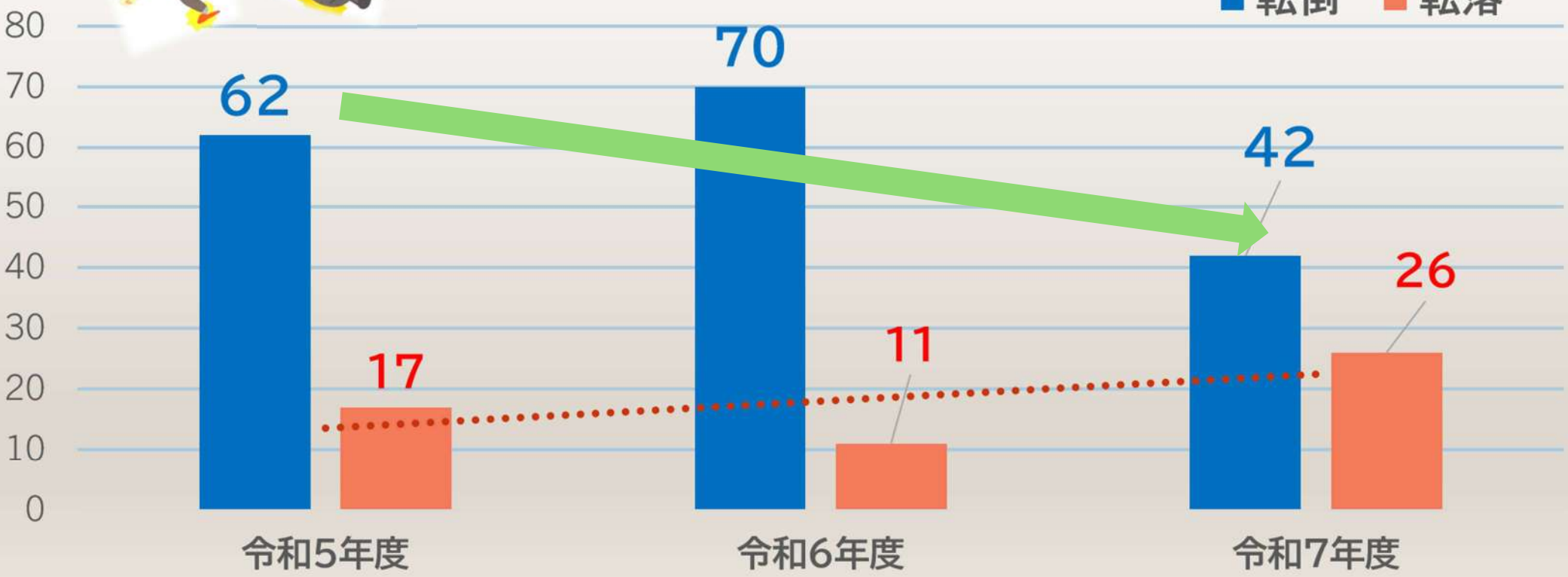




社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘



転倒・転落件数（年度別）



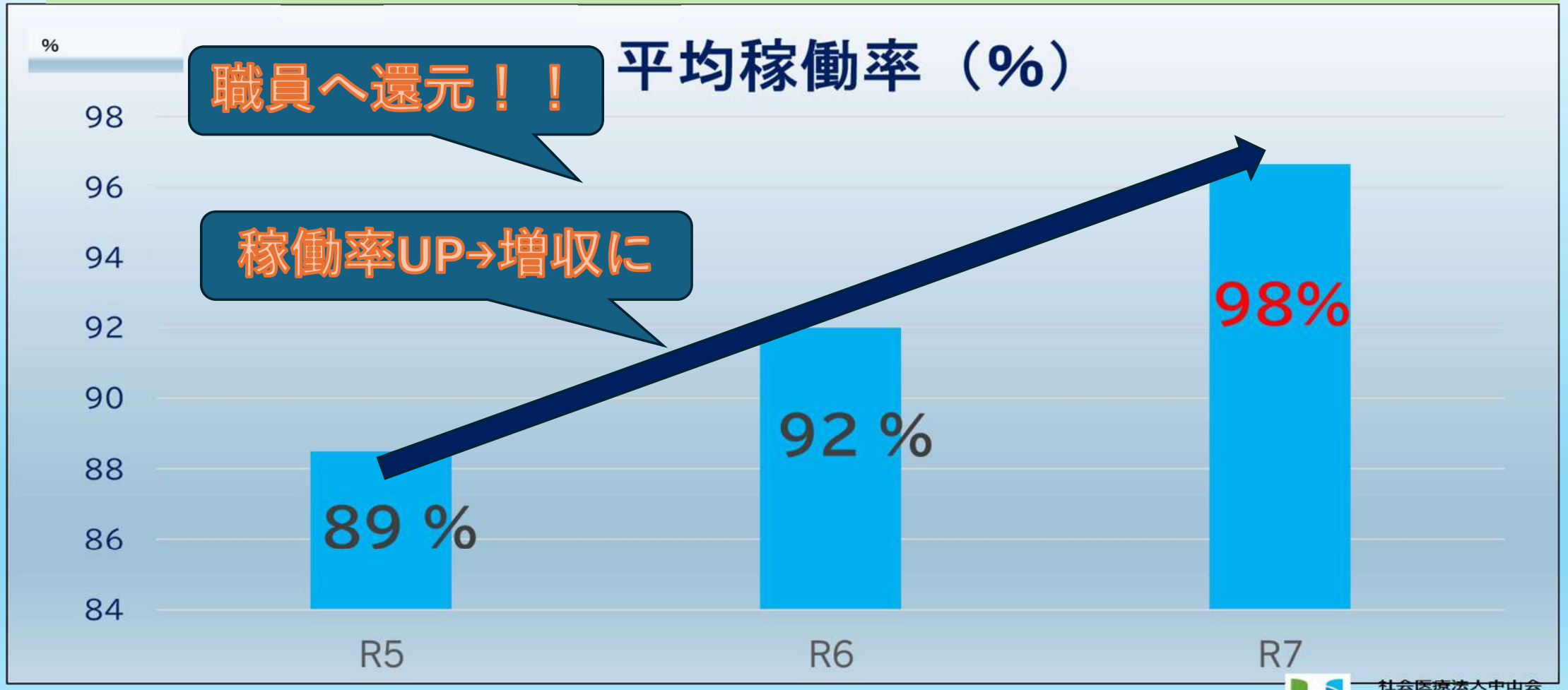
※転倒・転落事故対策に映像より、的確・迅速な対応ができる

※職員のメンタル的・精神的負担軽減とリスク回避へと、利用者、ご家族への信頼度UP

社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

入居者稼働率(年度別)

稼働率UP …▶ 収益性Up …▶ 介護職員等処遇改善加算(1) 15.9%の上位加算



社会医療法人中山会
介護付きホーム 宝木荘

数字から分かった成果＜R7.1～R8.8.31間＞

夜間・深夜救急搬送	0件
転倒による骨折・OP・長期入院	0件＜R7.1～R8.8＞
入居稼働率Up	98％維持
夜間巡視数４５居室（１６ｈ2名体制） 平均巡視数：225回/日	2名夜勤者：50回以下 1名夜勤者：25回以下
残業削減 有給取得率Up	1時間以下 10日以上

社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

更に、経営面では

介護処遇改善加算（Ⅰ）	上位加算：15.9％
生産性推進体制加算（Ⅰ）	令和7年2月取得算定
賃上げ補助金	上位％：21％
①入居希望見学・問合せ②待機者数	①150件以上②10名以上
職員採用（R7度求人票無しの状況化）	**介福士8名面接希望：4名採用**

社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

「AIが記録する」から「記録を作る」

転倒映像 → AIが解析 → 事故前の状況 → 事故発生時の状況 → 考えられる要因 → 再発防止対策 → 事故報告書作成

AIが映像を見る → AIが情報を整理する → AIが記録作成を支援する → 人が確認・判断する → 次のケアにつなげる

事故発生状況	【O】（客観的情報） ・13:25:15～：利用者がベッド上で起き上がり動作を試みる。 ・13:26:45頃：起き上がり、足元側（柵のない部分）に移動して端座位になる。 ・13:27:07頃：ベッドから降りようとしてバランスを崩し、ベッドと車椅子の間の床へ転落。 ・13:28:07：職員2名が入室し、床に倒れている利用者を発見。状態確認を実施。 ・13:28:12～13:28:22：車椅子を移動させ、頭側のベッド柵を外して介助スペースを確保。 ・13:28:27～13:28:35：職員2名で利用者を抱え起こし、車椅子へ移乗させる。 ・13:28:36～動画終了：利用者が車椅子に座った状態で、状態確認を継続している状態で映像終了。
再発予防策 （具体的に）	【P】（計画） 1. 【アセスメント】利用者の日中の活動ニーズ（車椅子に乗りたい等）および、自力での移乗能力について再アセスメントを実施する。 2. 【環境調整】足元側の柵を外した標準環境は維持しつつ、自力で移乗しようとする際のリスクを軽減するため、車椅子の配置場所の再検討やナースコールの位置を確認・再周知する。 3. 【テクノロジー活用】見守りAIカメラを活用し、利用者の活動が活発になる日中帯（例：13:00～17:00 等）に「端座位アラート」を設定する。臥床から端座位になった時点で早期に検知し、自力で移乗を試みる前に職員が訪室・介助できる体制を整える。



社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

事故発生前の利用者の状況	ベッド上で仰臥位にて臥床していた。ベッドは乗り降りができるよう、足元側にはベッド柵が設置されていない標準的な環境であった。ベッドの傍には車椅子が配置されていた。
事故発生状況	【O】（客観的情報） ・13:25:15～：利用者がベッド上で起き上がり動作を試みる。 ・13:26:45頃：起き上がり、足元側（柵のない部分）に移動して端座位になる。 ・13:27:07頃：ベッドから降りようとしてバランスを崩し、ベッドと車椅子の間の床へ転落。 ・13:28:07：職員2名が入室し、床に倒れている利用者を発見。状態確認を実施。 ・13:28:12～13:28:22：車椅子を移動させ、頭側のベッド柵を外して介助スペースを確保。 ・13:28:27～13:28:35：職員2名で利用者を抱え起こし、車椅子へ移乗させる。 ・13:28:36～動画終了：利用者が車椅子に座った状態で、状態確認を継続している状態で映像終了。
再発予防策（具体的に）	【P】（計画） 1. 【アセスメント】利用者の日中の活動ニーズ（車椅子に乗りたい等）および、自力での移乗能力について再アセスメントを実施する。 2. 【環境調整】足元側の柵を外した標準環境は維持しつつ、自力で移乗しようとする際のリスクを軽減するため、車椅子の配置場所の再検討やナースコールの位置を確認・再周知する。 3. 【テクノロジー活用】見守りAIカメラを活用し、利用者の活動が活発になる日中帯（例：13:00～17:00 等）に「端座位アラート」を設定する。臥床から端座位になった時点で早期に検知し、自力で移乗を試みる前に職員が訪室・介助できる体制を整える。

社会医療法人中山会
介護付きホーム 宝木荘

Copyright©2026 TEPCO TOWNPLANNING CO.,LTD. All rights reserved



◎記録システムにAIが自動記録をAIカメラによる報告書及び対策案まで記載

◎SOAP(ソープ)方式でのAIが判断記録

◎施設ごとのフォーマットに適応

S(主観的情報):
O(客観的情報):
A(評価):
P(計画):

事故報告書

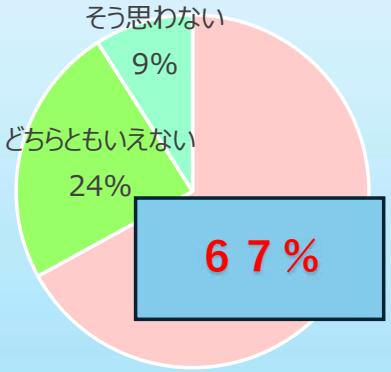
報告者	報告日	令和　年　月　日（　）曜日
	氏名	職名　　氏名　　印
対象者	利用者氏名	氏名［映像から確認不可］様　　年齢　才　☑女　（介護度　・認知 有・無 ）
	既往歴および身体機能状況	高血圧 ・ 高脂血症 ・ 糖尿病 ・ 肝疾患 ・ 脳梗塞 ・ 脳内出血 ・ 心疾患 膵臓疾患 ・ 骨折（　） 腰痛 ・ 膝関節症 ・ 頸椎症 その他（　）
日時等	発生日	令和 8 年 4 月 3 日（ 金 ）曜日　13時 27分頃　分類
	発生場所	☑居室 □リビング □トイレ □脱衣所 □浴室 □廊下 □階段 □談話ルーム □施設外（　） □その他（　）
	事故種別	転落（ずり落ち）
内容	事故発生前の利用者の状況	ベッド上で仰臥位にて臥床していた。ベッドは乗り降りができるよう、足元側にはベッド柵が設置されていない標準的な環境であった。ベッドの傍には車椅子が配置されていた。
	事故発生状況	□介助中 / 見守り ・ 歩行 ・ 移乗 ・ 食事 ・ 排泄 ・ 入浴 ・ その他 / ☑自立動作中 / 歩行 ・ 移乗 ・ 食事 ・ 排泄 ・ 入浴 ・ 就寝 ・ その他（ 起床・端座位・移乗動作 ） （具体的状況） 【S】（主観的情報） 映像からは音声が確認できないため、現場での聴取事項として以下を確認する。 ・「どこか打ったところ、痛いところはないか」（床に転落しているため、頭部・背部・腰部等の痛みの確認） ・「なぜ起き上がろうとしたのか」という離床・移乗の目的と理由の聴取。 【O】（客観的情報） ・13:25:15～：利用者がベッド上で起き上がり動作を試みる。 ・13:26:45頃：起き上がり、足元側（柵のない部分）に移動して端座位になる。 ・13:27:07頃：ベッドから降りようとしてバランスを崩し、ベッドと車椅子の間の床へ転落。 ・13:28:07：職員2名が入室し、床に倒れている利用者を発見。状態確認を実施。 ・13:28:12～13:28:22：車椅子を移動させ、頭側のベッド柵を外して介助スペースを確保。 ・13:28:27～13:28:35：職員2名で利用者を抱え起こし、車椅子へ移乗させる。 ・13:28:36～動画終了：利用者が車椅子に座った状態で、状態確認を継続している状態で映像終了。
	事故原因	【A】（評価） ベッド足元側の柵がない標準的な環境において、利用者が日中に自力で起き上がり、ベッドから降りる動作を試みた際、バランスを崩して床へ転落した。自力での安全な立ち上がりや移乗能力が低下している可能性がある。
	原因として該当するものにチェック	本人要因⇒ ☑生活活動 □低血圧・低血糖・脱水 □薬物処方状況 ☑機能低下 介護者要因⇒ □介助動作 □介護手順 □意思確認 □アセスメント不足 環境要因⇒ □動作環境　□設備・用具の不備
対応 対策	応急処置の内容	入室した職員2名が直ちに利用者の状態を確認し、安全を確保した上で車椅子への移乗介助を実施した。その後、車椅子に座った状態で頭部等に外傷や痛みがないかの確認を行っている（映像終了時点）。 （受傷部位） ［映像から確認不可］ ※仰向けに転落しているため頭部や背部打撲の可能性があるが、明確な外傷は映像から判定不可
	受診状況及び診察内容	［映像から確認不可］
	家族への連絡	□無　□有　　月　日 午前 / 午後　：　分頃（連絡者　） 家族氏名　（本人との関係　）
	再発予防策（具体的に）	【P】（計画） 1. 【アセスメント】利用者の日中の活動ニーズ（車椅子に乗りたい等）および、自力での移乗能力について再アセスメントを実施する。 2. 【環境調整】足元側の柵を外した標準環境は維持しつつ、自力で移乗しようとする際のリスクを軽減するため、車椅子の配置場所の再検討やナースコールの位置を確認・再周知する。 3. 【テクノロジー活用】見守りAIカメラを活用し、利用者の活動が活発になる日中帯（例：13:00～17:00 等）に「端座位アラート」を設定する。臥床から端座位になった時点で早期に検知し、自力で移乗を試みる前に職員が訪室・介助できる体制を整える。

社会医療法人中山会
介護付きホーム 宝木荘

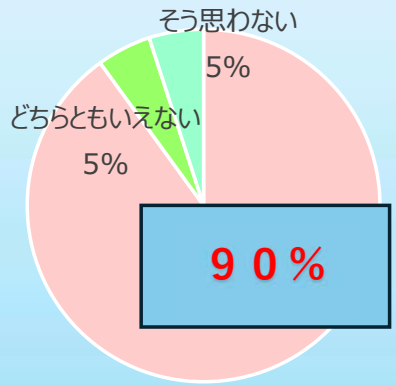
AI見守りカメラ導入後の職員アンケート結果（n＝24人）

（2025年11月）

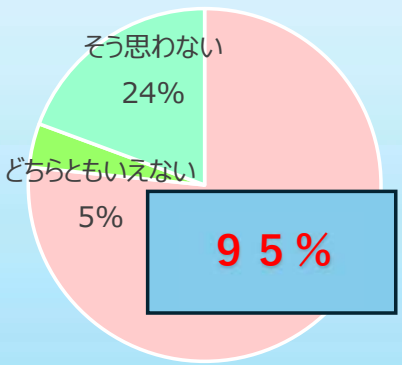
総アンケート
“そう思う” 平均７５％



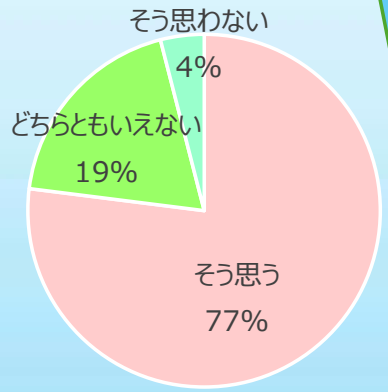
気持ちに余裕ができる



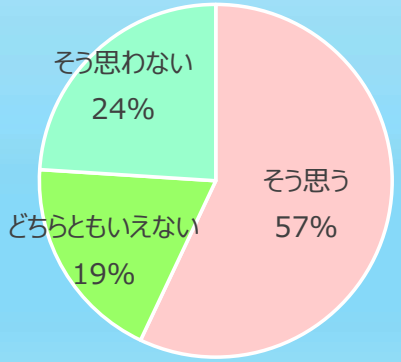
訪室せずとも利用者の状況がわかる



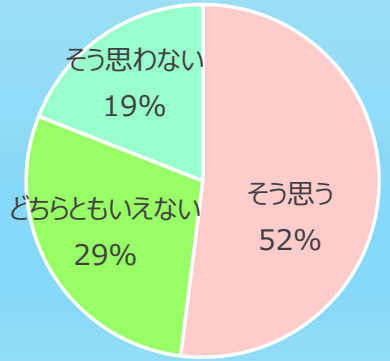
事故分析の参考情報にできる



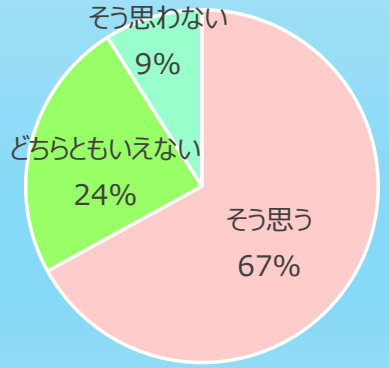
優先順位の判断ができる



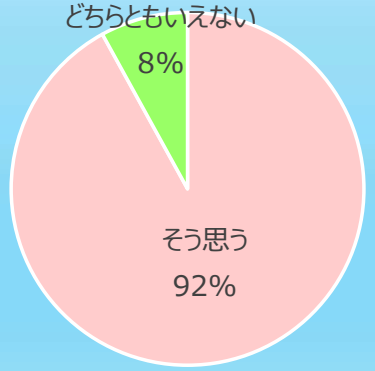
必要以上に利用者
を見に行くことがない



自分の専門性を発揮
する時間ができる



利用者により良いケアを提供できる



引き続きAcecareを利用したい

社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

特に、AI見守りカメラ導入による効果（私の感想）

1．AI見守りカメラを活用で、全職員の業務効率化がはかれる。
2．オンコール看護師のモバイルPCなど、自宅でリアルタイムに、
　　映像確認ができる。
3．職員の身体的・精神的に余裕、負担軽減に。
4．事故原因分析の参考情報が大いにわかる。
5．残業・有給取得・休憩など効果があらわれる。
6．安定した職場環境、働きやすい職場環境につながる。
7．地域からの施設評価が高まり、見学者等増。
8．安全対策として始めたAIが、働き方と経営にも波及。



社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

宝木荘では、
介護職員等処遇改善加算額は
人事考課による、不公平感無く
評価配分したいと思い。

５０％を固定給に
残額５０％を、3回賞与に

春・夏・冬

（介護処遇加算手当）

処遇加算手当は別表１０のとおり支給する。

２　前項の処遇加算手当は、介護保険処遇改善加算制度に準ずる制度による加算額を各職員に配分するものであり、介護保険処遇改善加算制度に準じる制度の改廃に伴い、額改定もしくは不支給となることがある。

別表１０

介護職員処遇改善手当（新規）

対象	評価区分	支　給　額	例）基準額46,666円	例）支給額
介護職	貢献度１	当年度加算の1月見込額×55％÷基準人員数（3:1=15名）	×30％	14,000円
	貢献度２		×40％	18,666円
	貢献度３		×50％	23,333円
	貢献度４		×80％	37,333円
	貢献度５		×100％	46,666円

対象	評価区分	支　給　額	例）基準額33,333円	例）支給額
その他職	貢献度１	当年度加算の1月見込額×45％÷人員数	×30％	10,000円
	貢献度２		×40％	13,333円
	貢献度３		×50％	16,666円
	貢献度４		×80％	26,666円
	貢献度５		×100％	33,333円

※分配額及び支給率には、介護保険処遇改善加算制度による当期加算見込額を基準として毎期決定（変更）する。

（根拠例）前年度の加算実質額
10,000,000 円/年間（仮例）

・10,000,000÷12か月＝1,000,000円
・1,000,000×50％＝500,000円/毎月の手当支給総額（目安）

（介護部）
○500,000×55％＝275,000円⇒30万　30万÷15名＝平均23,333円（５０％）⇒46,666円（１００％の基準額）

（その他職）
○500,000×45％＝225,000円⇒25万　25万÷15名＝平均16,666円（５０％）⇒33,333円（１００％の基準額）

（約500万円見込残額においては、賞与支給。）

※手当支給には、法定福利費も手当額から支払っており、介護保険法に準じます。

社会医療法人中山会
介護付きホーム 宝木荘

費用対効果～コストについて



【コストについて～業務改善例】

■“たった30分”、業務改善・残業削減できると、これだけのコスト削減

例)・ICT・テクノロジー・介護ロボット導入　生産性向上へ

◎日経ヘルスケア情報より、関東地区(常勤)平均257,622円(介護職員)

160h　≒　1,610円/h

◎仮に、毎日常勤職員15名×時間単価1,610円×30分×20日(出勤日数)×12か月

≒　2,898,000円　削減に！

社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

【宝木荘での業務改善例】

◎生産性向上加算(Ⅰ)を取得　人員配置基準　3:1　→　3:0.9　にできる想定

介護職員配置：入居者45名÷3＝15名　(常勤配置基準)

→　14名　(人件費:約400万削減)



◎2025年4月　常勤換算数:21名　→　◎2026年7月現在　常勤換算数:17名

(▲常勤1名 、▲パート4名)

※介護部人件費　常勤400万＋(パート職員約55万×12か月　≒　660万)

≒約1,000万円人件費削減も可能となる

社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

施設の要望や課題に対しAIを活用した機能を拡充し続ける

拡張性・高機能な精度へ期待

ケアデータコネクト連携でつながり拡大

主要な介護記録ソフト、インカム、ナースコールなどとつながり、通知や自動記録が可能に
今後は直接連携も予定

新機能

安価な赤外線見守りカメラを追加



暗闇でもクリアーな映像で遠隔から確認、記録ができる安価なカメラをラインナップ

新機能

オンコール対応端末で看護師も安心



AI

セキュリティを担保して自宅で待機しているオンコールスタッフが遠隔で看取りの方を確認可能

新機能

複数画面ライブ映像表示を追加

AI



要注視の入居者を常時映像表示し訪室回数を軽減するとともに入居者の安心安全を確保

新機能

通常とは異なる動作を検知し通知

AI

特に職員の少ない夜間に異なる動作や長時間不在の時、トイレや物陰で倒れていないか注意喚起の通知をします

新機能

転倒予防の個別発報機能を追加

AI

転倒しやすい方の端坐位の状態を検知した場合に注意喚起の通知をします
転倒警戒に役立ちます

新機能

暗闇でも転倒を検知するAIカメラ

AI



独自AIを載せた赤外線AIカメラは暗闇も状態検知
更に双方向のスピーカー機能も兼ね備えておりAIによる音声解析も検討中

AIによる転倒履歴の分析を実現

AI

開発中

転倒履歴や転倒動画より、AIが分析を行い、転倒の再発防止策を講じます。

インシデント報告書を自動生成

AI

開発中



転倒動画より、AIが分析を行い、現象、原因、対策などのインシデント報告書の自動生成を行います

上記は一部の機能紹介であり、AIを活用して、まだまだ機能拡充をし続けます。

Copyrightⓒ2026 TEPCO TOWNPLANNING CO.,LTD. All rights reserved

当施設見学、いつでもWELCOMEです

ご清聴ありがとうございました。！

※厚生労働省ホームページ「宝木荘」掲載
「介護テクノロジー等による生産性向上の取組に関する調査・効果測定事業





社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘
大垣　治彦

ホームページ

資料・データphoto・イラスト引用
東電タウンプランニング（株）
ブルーオーシャン資料、ワイズマン資料

takaragisou

社会医療法人中山会
介護付きホーム　宝木荘

令和8年度 介護テクノロジー等活用ミーティング

2026 / 11 / 11

ICTを活用した見守りによる転倒防止と業務負担の軽減

～システムに業務をあわせて、好循環の波に乗る～

SPEAKER

施設長 西井 健太

社会福祉法人 洗心福祉会

ふたみ介護老人保健施設 シルバーケア豊壽園

sensin 洗心福祉会

三重県津市に本部を構え、4つの福祉を広域に。

洗心福祉会の、すべて。

THE ORGANIZATION

本　部	〒514-0831 三重県津市本町 26-13
設　立	1978年 10月 — 昭和53年
従業員数	1,046 名 — 2026.10 時点
広がり	三重県内6市 ＋ 滋賀県甲賀市

AREA ／ 事業所エリア

三重県 —— 滋賀県に広がる、拠点。



MIE ／ 三重県

津市 ・ 鈴鹿市 ・ 松阪市
伊勢市 ・ 伊賀市 ・ 志摩市

SHIGA ／ 滋賀県

甲賀市

児童福祉 | こどもに寄り添う支援を。

高齢者福祉 | 安心できる毎日の、お手伝い。

障がい者福祉 | 一人ひとりに、合った支援。

医療
訪問診療と、地域医療。

sensin 洗心福祉会

温かく、まっすぐ —— 現場で動く、施設長の自己紹介。

現場の、人と、場所。

SELF ／ ABOUT ME

西井 健太

昭和60年生まれ —— 三重県鳥羽市出身（鳥羽水族館のあるまちです）

HOBBIES

コーヒー（焙煎）
筋トレ

ふたみ介護老人保健施設
シルバーケア豊壽園 —— 施設長（管理者）

CAREER —— 経歴

- 特別養護老人ホーム —— 介護職員／生活相談員／介護支援専門員
- 小規模多機能居宅介護 —— 介護支援専門員
- 居宅介護支援事業所 —— 介護支援専門員
- 介護老人保健施設 —— 介護支援専門／介護職員
- 認知症対応型共同生活介護 —— 管理者／介護支援専門

— 現在に至る



FACILITY —— ふたみ介護老人保健施設 シルバーケア豊壽園

所在地
三重県伊勢市
二見町三津855番地

種別
介護老人保健施設
（老健）

定員
100 名 —全室個室（従来型個室）

オープン
平成15年 4月 21日

sensin 浄心福祉会

「効率化のその先、職員を守るゴール」

体力原因の退職者、ゼロにする。

介護は、とてもやりがいのある仕事である。
だがその一方で、**夜間の過酷な巡視・腰痛・精神的ストレス**によって、
志半ばで現場を去る仲間を、私は何度も見てきた。

「業務効率化して加算を取りましょう」
—— だけでは、現場の心は動かない。



ZERO ／ 職員全員のベクトル

大切な職員を、
体力を壊さない職場

sensin

老朽化という崖の手前で ——

1台で3役の、圧倒的にお買い得。

THE PROBLEM

部品生産終了、老朽化が急務。

ナースコール単体の改修だけでも
膨大な費用がかかる。
単発更新では、経営インパクト大。

- ナースコール機能
- カメラ見守り
- インカム代替

THE CHOICE

HitomeQ ケアサポート

1台3役の一元化で、
改修・見守り・インカムの
単独整備より**圧倒的にお買い得。**

FINANCING

補助金をフル活用

COVERAGE

100床

全室への導入を決断。

国の補正予算・自治体の補助金を組み合わせ、提示される支払総額ではなく**総合コスト**で判断。

行動分析 × LIVE動画 × エビデンス録画 —— 1セットが、現場で動く。

3つの瞬間、1セットが軸になる。



出所: © KONICA MINOLTA —— HitomeQケアサポート資料より

THE / 3 FUNCTIONS

兆候を、確認し、残す。

01 / NOTIFY

起床・離床・輾転などの兆候を検知

02 / LIVE

行動をその場で、確認できる

03 / RECORD

転倒時は、1分前から記録

—— 1台3役、夜勤帯を、根本から軽くする。

THE KEY RULE

システムに、業務をあわせていく。

PROCESS **発散** ——→ **収束**　従来の当たり前をゼロベースで見直し、現場に**本当のあたり前**を再構築する。

FAILURE ／ 失敗の罠

業務に、システムを合わせようとする。

- カスタマイズと手作業が膨張
- 運用が煩雑化、現場が混乱
- **やがて形骸化し、ICT推進最大の阻害要因に。**

VS

SUCCESS ／ 成功の鉄則

システムを軸に、「発散」へと動く。

- 業務改革プロジェクトとして正式発足
- 従来の当たり前をゼロベースで見直し、収束へ
- **期日とゴールを定め、全社で貫く。**

テクノロジーを活かす、その前の準備。

5Sで、爆速の土台を創る。

1

SEIRI

整理

要るものと
要らないものを
はっきり分ける。

2

SEITON

整頓

探す・迷うを
ゼロにする
動線と配置の整理。

3

SEISO

清掃

物理的な
環境整備、
きれいな現場へ。

4

SEIKETSU

清潔

美しさを
維持し、
標準化する。

5

SHITSUKE

躾

習慣化 / 仕組み化

5つのSを標準とし、
現場の意識に根づかせる。

動線整理と無駄の排除 —— 新しいテクノロジーを、現場が**スムーズに受け入れる土台**を完成させる。

ICT と外国人雇用を、加速させる前提として。

5Sの前に、「仲間づくり」を据えた。

BACKGROUND

背景

ICT導入と外国人雇用、これらを効果的かつスピードを加速させて進めるためにも、**5Sが重要**であると考えました。

外国人技能実習生を受け入れる時期とも重なりました。
リクルート、ICT化、**介護DX**を進める上で、環境設定は前提条件です。

5Sで「感じ方」の統一を図る —— それを狙いとした。

FUNDING ／ FRAMING

仲間づくり

補助金は**介護テクノロジー導入支援事業**。
財源は**介護従事者確保分**を活用しています。

当法人はこれを、「仲間づくり」と捉えました。

ICT化・介護DXに後ろ向きな職員もいました。
全職員へ、マインドセットを行いました。

環境を整える、その先にあるもの。

5Sが目指す、4つのねらい。

01 ／ EFFICIENCY ／ SAFETY

業務の効率化と、安全性向上。

環境を整え、無駄な動きや危険の芽を取り除く。

02 ／ MOTIVATION

働きやすい職場。モチベーションを高める。

居心地の良さが、働きたい気持ちを育てる。

03 ／ STANDARDIZATION

業務の標準化。誰でもスムーズに。

属人化しない、引き継ぎやすい職場 —— 標準を共通言語にする。

04 ／ CUSTOMER ／ SATISFACTION

ご利用者様の満足度向上。

「自分の家族を入れたいか」 ——
「はい」と答えられる職場へ。

推進体制・視覚管理・ルール —— 3つを、設計する。

5Sを、仕組みとして設計する。

01

推進体制

5Sを進めるために、
プロジェクトを立ち上げました。

管理職からパート職員まで、
責任を持って実施してくれる人材を起用。

02

視覚管理

統一感と**掲示物**の在り方を工夫しました。

—— なぜなら、
外国人技能実習生も
受け入れるためです。

03

明確な職場ルール

法人内で作成した5S活動の
ルールブック。
「おもてなし TO DO リスト」を参考に、
ルールを明文化しました。

全職員に周知 —— 共通言語としてのルールを、現場の手に。

やりっぱなしにしない —— 仕組み化する。

定着化と、精神的報酬。

RITUALS

2つの仕掛け

DETAIL ／ SLIDE 13

おほめコンテスト で、
褒める習慣を、仕組みに。

DETAIL ／ SLIDE 14

5S コンテストで、
散らかりを、御法度に。

職員へ、「精神的報酬」 を ——

表彰状を、玄関に近い場所に掲示し、
次の習慣へつなげる。

RITUALS

習慣を、仕組みに変える。

やりっぱなしにならないよう、
定期的にコンテスト等を実施。
習慣を、仕組み化できるように。

躾

SHITSUKE ／ 習慣化 ／ 仕組み化

他者をほめる力を、讃える —— 賞状という形にして、現場に残す。

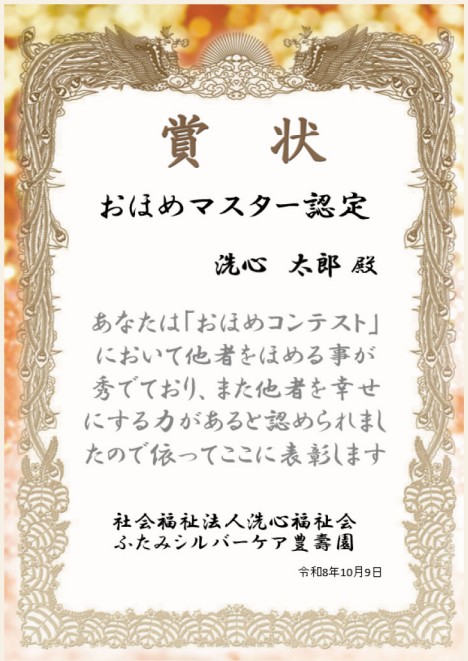
おほめマスター認定 —— 賞状。

CERTIFICATE ／ RECOGNITION

賞状を、
手に取れる場所に。

あなたの長所を、見える化 ——
もらった側が、また誰かを、ほめる。
笑顔の循環は、賞状から生まれる。

—— 令和8年 10月 9日 —— ふたみシルバーケア豊壽園 —— 主催 ふたみCSC


賞　状

おほめマスター認定

洗心　太郎 殿

あなたは「おほめコンテスト」
において他者をほめる事が
秀でており、また他者を幸せ
にする力があると認められまし
たので依ってここに表彰します

社会福祉法人洗心福祉会
ふたみシルバーケア豊壽園

令和8年10月9日

WHY ／ なぜ 賞状か

**「褒められた記憶」が、
次の、5Sを支える。**

—— 賞状は、玄関に近い場所に。

NEXT ／ 続いていくもの

**5S コンテスト
—— これも、次の一手。**

—— SLIDE 14 へ

散らかし・お汚し —— 御法度 —— 片付けを、相撲にたとえて面白く。

5S コンテスト、忍耐相撲大会。

CERTIFICATE ／ 表彰



WINNER ／ 受賞チーム

二階職員の皆様、優勝。

社内の整理整頓を、積極的に。
「5S 活動」の二階チーム、見事。

RITUAL ／ やりっぱなしにしない

賞状を、玄関に近い場所に掲示 —— 次の、相撲のための意識に。

主催 ふたみシルバーケア豊壽園 —— 令和7年 10月 10日 第1回

sensin 洗心福祉会

稼働初日、3つのしかけ。

初日から、爆速で定着させる。

DAY 1

01

使用可能初日から運用開始。

5Sで整えた土台に、
躊躇なく乗る。

PHASE 2

02

リーダー職限定 × 夜間帯のみ。

スモールスタートで
短期間に特性把握。

FINAL

03

全員展開

現場の
フローチャート
は自分たちで
作成。

VOICE —— メーカー担当者

まるで既に**3か月以上**使い込んでいる
施設かのよう、
との驚嘆。

—— 製品メーカー担当者より

sensin

外部の支え × 多職種の共通言語。

ダブルの伴走、客観データで議論する。

MENTOR ／ 01

01

みえ介護生産性向上支援センター

モデル事業所に指定。
定着・運用から加算取得までの**具体的なプロセス**を正しく設計。

MENTOR ／ 02

02

アズメド株式会社 西氏

直接指導による伴走。
専門家を味方に付けることの、大きな力。

MULTI-DISCIPLINE ／ 共通言語はデータ

医師	看護	介護	リハビリ	相談員	ケアマネジャー

sensin 清心福祉会

現場に伴走する、「現場を知る」パートナー。

コニカミノルタ HitomeQケアサポート を選んだ決め手。

01 手厚い導入支援
立ち上げから伴走する、施設の現場を知った支援。

02 24時間対応 × 連絡
夜間帯も止まらない。担当とも
いつでも連絡が取れる —— フルに活用できています。

03 仕様変更も、聞いてもらえる
現場の声を、そのままプロダクトへ反映。

04 品質向上へ、日々取り組む
日々進化するプロダクトに、肌で触れる私たちもうれしい。

THE PARTNER ／ OUR REASON

担当とも いつでも連絡が 取れる ——

それが、現場にとっての
「本当に助かっている」の
中身でした。

OUR COMMITMENT

現場とともに、夜勤帯を変える。

sensin 清心福祉会

現場と、座学 —— 同じ話を、ふたつの型で届けた。

スタッフ研修、現場と座学。

導入支援の様子



現場でのスタッフ研修



座学でのスタッフ研修

現場での実機タッチ研修 —— **触って確かめる**を重視。

職種・雇用形態問わず —— ベッドまで、現場で触れて確かめた。

全職員で、ベッドまで。

導入支援の様子



職種雇用形態問わず、全職員研修スタッフ研修に参加



ベット位置調整も多くの職員で体験

WHO ／ 参加した職員

職種・雇用形態を、問わず。

全職員の研修参加 ——
正規・非正規の壁を越える。

初期メンバー以外も、ベッド位置や通知設定など現場で触れて確かめる。
実務で**触れて体感**するから、現場のものになる。

HANDS ON ／ 体感から始める

—— 「説明を聞く」より、
「触って確かめる」を優先した。

グループ別にも活用状況をチェックできる —— 2026/7 —— 9月、3か月の動き。

施設の、活用を、数字で見える化。

FACILITY ／ DASHBOARD

訪室 × 3か月

区分	7月	8月	9月
通知起点（日）	2,834	2,768	2,831
様子見（日）	4,352	4,308	4,540
介助（日）	5,993	6,067	6,176
通知起点（夜）	1,688	1,695	1,627
様子見（夜）	1,082	927	796
介助（夜）	1,924	1,814	1,839

期間: 2026/7月 —— 9月 各月 1〜28日集計 ／ day: 6-21時（15h） ／ night: 21-6時（9h）

CARE GROUPS

7つのグループ別に、活用を可視化。

英虞 ｜ 安乗 ｜ 的矢 ｜ 神島

二見浦 ｜ 伊勢 ｜ 志摩

※ **二見浦** は、豊壽園の所在グループ —— 重症度・観察項目 ともに高い水準で運用。

TOTAL TRAFFIC ／ 3か月合計　延べ件数

約 53,000 件

期間: 2026/7月 —— 9月 ／ 夜勤帯の様子見訪室が大きく減少傾向

個別に把握 —— 適切な評価を、適切な指導へ、業務の標準化へ。

スタッフ別の、活用を見る。

職員（職種）	対応数 ／ 月	LIVE 使用率	30秒未満対応率	訪室率
職員A 介護	1,242	87%	87%	16%
職員B 看護	981	91%	66%	18%
職員C 介護	879	73%	73%	25%
職員D 看護	828	83%	83%	14%
職員E 介護	752	57%	77%	24%
職員F リハビリ	729	51%	74%	24%
職員G 介護	624	54%	82%	21%
職員H 看護	557	13%	78%	30%

※ 個人情報保護のため、氏名は **職員A〜H** と表記／一部抜粋（出典: 2026/9月時点データ）。

INSIGHT ／ 読み解き

LIVE 使用率と 30秒対応率の 組み合わせで見る。

高 LIVE × 高 30秒 —— 即応
低 LIVE × 高 30秒 —— 注意深い運用
低 30秒 —— 個別フォローの対象

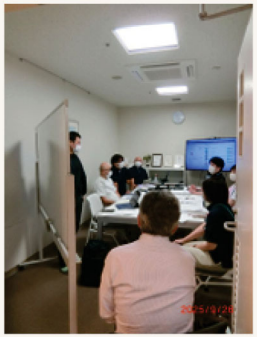
期間: 2026/9月度

個別活用を、評価 → 指導 → 標準化 —— 3段階で、全体の底上げへ。

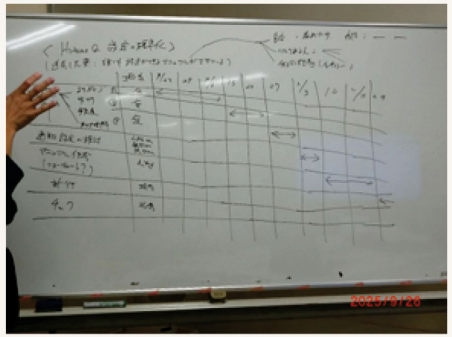
外部メンター —— もう一方の、伴走支援。

モデル事業所に、選定されて。

みえ介護生産性向上支援センターモデル事業所伴奏支援



HitomeQケアサポートの通知設定の標準化



生産性向上推進体制加算Ⅰの算定準備

通知設定の標準化 —— 生産性向上推進体制加算 Ⅰ の算定準備

SUPPORT ／ もう一方の伴走

伴奏支援を、受ける。

業界全体の正解を、現場に連れてくる。

通知設定の型化、加算算定の段取り ——
法人内で定めにくいものを、外から整える。

ACCOMPANIMENT ／ 受けられる支援

通知設定の標準化 —— 型に落とす力
生産性向上推進体制加算 Ⅰ —— 算定の段取り

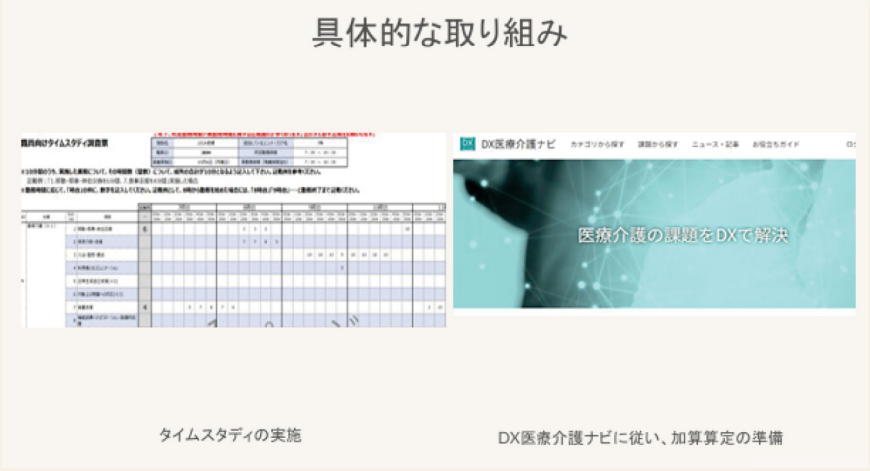
sensin 浄心福祉会

計測し、設計する —— 現場と制度を、線でつなぐ。

数値 × DX —— 具体的な、取り組み。

PRACTICE ／ 01

タイムスタディの実施



—— *業務ごとの所要時間を、**見える化**。*

PRACTICE ／ 02

DX 医療介護ナビに従い、加算算定の準備。

厚生労働省のナビと、現場の取組みを、
同じ尺度で照らし合わせる。

投資を、ケアと経営に、確実につなぐ ——

EVIDENCE ／ 数字で、設計する。

sensin 浄心福祉会

見えてきた、現場の２つの壁。

個別最適化 と、２度目のゼロへ。

TODAY

２つの壁

01 ／ INDIVIDUALIZE

スクリーニングツール —— 誰もが適切な HitomeQ 通知設定を。

みえ介護生産性向上支援センター+アズメド株式会社 西氏の伴走支援をもとに、
ご利用者様一人ひとりに、最適な通知を。

02 ／ SECOND-FALL ZERO

居室内で起きる、２回目の転倒 —— ゼロへ。

１回目は兆候で掴み、２回目は起こさない。
再発防止を、データと観察眼で。

NEXT PARADIGM

兆候を、１回目で掴み、２回目を起こさない。

予測型ケア ——
再発ゼロへ。

通知設定 + 録画 + 検知を
介護・看護・リハの共通語に ——
事後の対処から、起こさないケアへ。

「事後対応」から、
「兆候を捉える」ケアへ。

sensin

転倒事故の評価について、ひとつ補足させてください。

件数より兆候を、大切にしたい。

PRINCIPLE ／ 評価の前提

見える化された件数の増加と、
実際の安全性の変化は、分けて考える必要があります。

見守り機器を導入すると、これまで職員が把握できなかった転倒や、
その前後の動きにも気づけるようになります。
そのため、導入後に記録された件数が増えたとしても、
それだけで「転倒が増えた」「取り組みがうまくいかなかった」
とは言えません。

大切なのは、起きたことを見逃さず、通知や映像、介護記録をもとに、
何が起きていたのかを振り返ること。

本人の行動や生活リズムに合わせて、通知の設定や介助のタイミング、
環境を見直し、次のケアにつなげる —— これが予測型ケアの出発です。

OUR METRIC ／ 大切にしているもの

大切にしているのは、
3つの問い。

① 兆候に気づけたか

② 発見後の対応を改善できたか

③ 同じ状況での
再発防止につなげられたか

見守り機器の役割は、
件数を少なく見せることではありません。

sensin
洗心福祉会

数値で示す、夜間業務負担の変革。

夜間の負担、60%削減。

METRIC 01 —— 夜勤者1人あたり 巡視回数

BEFORE —— 5回

AFTER —— 2回

60%
CUT

5回 → **2回** —— 身体的・精神的ストレスを大きく軽くした。

METRIC 02 —— 巡視時間 ／ 1人あたり

1時間 20分 → 50分

1人あたり **30分短縮**。

RIPPLE —— ご利用者様へ

不要な訪室がなくなり、
朝までぐっすり安眠。

生活リズムの向上も、確実に。

現場と、制度と、公の場で ——

4つの実が、結実した。

SYSTEM ／ 02

生産性向上推進体制加算 Ⅰ

稼働率 95% 以上

——（地域貢献率）として継続評価。

PREFECTURAL ／ 03

令和8年度
三重県介護技術コンテスト

第1位

三重県知事賞

NATIONAL HONOR ／ 01

令和8年度 厚生労働大臣表彰 奨励賞

介護職員の働きやすい職場環境づくり
— 日々の取り組みが、
国の評価として結実。

RETENTION ／ 04

職員の定着 × 経営の安定。

HitomeQ導入後、常勤・非常勤 合わせて
+10名 の新規採用 —— 体力原因の退職は、同期間中ゼロ。

OPERATIONAL STABILITY

ムダ削減 × ゆとり × 本質的な介護技術。

取り組みの結果 —— 仲間は、確実に増えている。

新規採用、常勤・非常勤 合わせて10名。

HITOMEQ AFTER ／ CUMULATIVE

HitomeQケアサポート導入後、**現在まで**の新規採用累計。

＋10名

常勤・非常勤 合わせて

MEANING

何人もの仲間が

A ／ IMAGE

「働きやすい職場」への取り組みが、採用の求心力に。

B ／ ENVIRONMENT

5Sで整えられた現場環境は、新規職員の初期不安を軽くする。

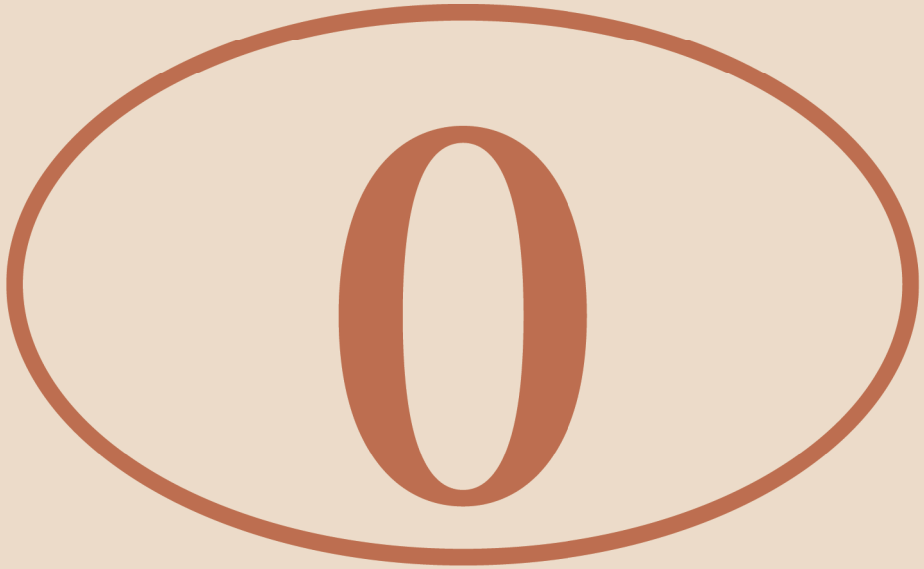
C ／ CIRCULATION

仲間が増えることが、次の仲間を呼ぶ好循環を生む。

残された3名は、やむを得ない事情だけ。

体力原因の退職は、ゼロのまま。

ZERO ／ 体力原因退職



体力原因の退職 —— 今も、ゼロです。

UNAVOIDABLE CASES

退職3名は、いずれも、やむを得ない事由のみ。

令和7年度 → 8年度

2名 —— 結婚・出産 等

他県への引っ越しのため、やむを得ない事情。

今年度

1名 —— 健康状態の悪化

やむを得ない健康上の事由。

ZERO TOLL ／ POLICY HOLD

過酷な労働環境や体力原因からの退職は一切なし。

sensin 清心福祉会

現場を変えられるのは、システムでもメーカーでもない。

覚悟をもって、決断する。

NEXT INNOVATION

現場の次の一手を、ともに。

01

**「システムに業務を
あわせる」覚悟を、持つ。**

02

**手厚い伴走支援を、
課題と連動させる。**

03

**投資は、必ずケアと
経営となって戻る。**

職員の身体と心を守る投資は、必ず質の高いケアと安定経営として戻ってくる ——

ご清聴、誠にありがとうございました。

sensin
清心福祉会